

碧南市名誉市民・元碧南市長

# 故永島卓氏をしのぶ



碧南市名誉市民  
故 永島卓氏  
(新川町、享年83歳)

## 永島卓氏の功績

平成8年4月に碧南市長に当選され、平成20年4月までの間、連続3期12年の永きにわたり市長の重責を務められ、碧南市政の進展に大きく貢献されました。

在任中に策定された第4次碧南市総合計画では、「元気でいこう思いやりと文化のみなとまち碧南」をキヤッチフレーズに掲げ、各施策・事業の推進にご尽力されました。

平成20年旭日小綬章（地方自治功勞）を受章。

## 文化振興事業の推進

氏は、市民の心豊かな生活づくりには文化の振興が欠かせないと考え、多くの事業を進めました。なかでも、先人が築いた優れた文化資産の保存や、市民・子どもたちが文化芸術に直接触れる機会の創出を目的として開館した碧南市藤井達吉現代美術館は、現在、市内外から多くの観覧者が訪れる施設となっています。

## 社会福祉施策の進展に寄与

碧南市を担う子どもたちの健全な発達と子育て世代の支援を目的に、乳幼児・児童に対する医療費の助成を拡大しました。また、保護者の多様な需要に対応すべく、延長保育・休日保育など、各家庭のライフ

スタイルに対応した体制整備の必要性を提唱し、受入れ施設やスタッフの充実に尽力されました。さらに、青少年の健全な育成には、学童期における環境整備の必要性があると説き、就任後直ちに市内全ての小学校に児童クラブを設置しました。県下でもいち早く整備を進めた氏の姿勢は、市民に高く評価されています。

## まちづくりに関する功績

かねてより、大浜地区の美しく歴史的な町並みを生かしつつ、港町として活性化を図りたいと考えていた氏は、当地区が平成11年に「歩いて暮らせるまちづくり」のモデル地区として国より選定されたことを受け、その特性を生かし、寺社を結ぶ散策コースや臨海公園を整備するなど、当地区の発展に大きな役割を果たしました。

## くるくるバスの運行

氏は高齢者、障害者など交通弱者の利便を図り、広く住民の地域社会参加の促進に寄与するため、市内巡回バスの設置に尽力されました。市民公募により命名された「くるくるバス」の運行は、平成10年4月より始まり、現在では年間14万人が利用する重要な交通手段として、多くの市民に親しまれています。

問合せ 秘書情報課秘書係

## 市葬のご案内

碧南市名誉市民の永島卓氏が、7月27日に逝去されました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたします。つきましては、市葬を次のとおり行いますので、市民の皆様のご会葬をお願い申し上げます。

日時 8月31日(水) 午前10時  
場所 碧南市文化会館ホール

なお、勝手ながら公葬ですので、御供花、御供物、御香典の儀は、堅く辞退申し上げます。万一、お届けいただきましても、お受けできませんのでご了承の程お願い申し上げます。

葬儀委員長 碧南市長 瀬戸田政信